



広報

# たけし 市民の友

第635号 毎月1回発行

2003年(平成15年)

12月

発行●那覇市 編集●秘書広報課  
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号  
☎ 867-0111 ●印刷(協)丸正印刷

市の人口と世帯	
* 内はうち外国人	
2003(平成15)年10月末現在	
総人口	310,068(1,966)
男	150,075(1,008)
女	159,993(958)
世帯数	122,464(1,184)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本庁	88,459
真和志	105,609
首里	58,785
小祿	55,249



## 私たちは地球という惑星の子ども

**「ゴルバチョフ氏を招き、来訪記念碑」除幕**

「2年前にも市民のみなさんとすばらしい出会いがありました。今回もまた、訪問することができ、すばらしい気持ちです。」

元ソ連大統領ミハイル・ゴルバチョフ氏が2001年11月14日に来訪した「記念碑」が、このほど、市役所本庁の中庭に設置されました。11月12日、除幕式に娘のイリーナさんを伴って参加した、ゴルバチョフ氏は冒頭の言葉に続けて、「市民のみなさんにこんなにも尊敬してもらい、光栄です」と笑顔で記念碑を見つめました。

今回、ゴルバチョフ氏は「グローバリゼーション・フォーラム2003」のパネリストとして来沖、市が主催した「識名園」での歓迎レセプションにも出席しました。

「ゴルバチョフ氏来訪記念碑」には、2年前に初めて訪れた際に氏が翁長市長に手渡した、若い人へのメッセージ「世界には困難な問題が多いが、みんなが協力してその問題を解決しなければならぬ。何故ならば、わたしたちはみんな同じ地球という惑星の子どもなのだ」という言葉が直筆で刻まれています。

除幕式でのあいさつで翁長市長は、「このメッセージは21世紀に地球の住民として生きる上で大切なものです。永遠に市のシンボルとしていきたい」と湧き上がる感動を伝えました。

(2面・8面に関連)

### 主な紙面

- (2面) 出前教室でこみ問題が身近に
- (3面) 平成16年度保育所入所児童募集
- (4面・5面) 家庭こみをシェアイン
- (6面) 平成15年度・上半期那覇市の財政
- (7面) 情報PACK

## 市長談 TAIDAN



ちはら なんりゅう  
**茅原 南龍**  
(書家)

1939年石垣市生まれ。28歳で石垣市消防を退職、書業に励む。1985年ちはら書藝会創設。門第6,000人。18年間小学校で書写指導。市教育委員会がスペシャリスト講師として委任。2003年、日展特選受賞。沖展審査員、沖縄県書道美術振興会理事長、読売書法展理事、日展会友。

翁長雄志市長 「この度は日展の書部門での特選受賞おめでとうございます。5の部門(書・洋画・工芸美術・日本画・彫刻)を通して、県内初めての快挙といふことで、とてもうれしく思っています。

茅原 南龍さん これまで私と関わりのあった様々な方に対しての感謝と感動と歡喜に包まれているというのが正直な気持ちです。

### 自分探しをしてほしい

茅原 小学校3年生までにかけてとくに子どもたちは好奇心旺盛な時期だろうと思います。私は、自分が「好きなこと」を探してください。「子どもたちに伝えていきます。つまり自分探しをしてほしいのです。大人になるときに、大きな夢へとぶくれあがるものです。

茅原 石垣市の消防署に勤めていた頃、小学5年生のときに描いた絵が復興博覧会で賞をもらったことを、ふと思い出し、その喜びが強烈にふみがちで、その時、初めて自分と向き合ったように思えます。

しかし絵を描くことは母に強く反対され、違つ筆に変えて挑戦してみようと考えました。本格的に書の道に進みたいと思ったのが28歳の時で、多くの方の反対を押し切り、消防署を辞め、この道一筋でがんばって参りました。

市長 気持ちの何が押し上げ

